大正八年三月五日第三種郵便物認可　昭和三年八月十二日　THE IWAKIJIHO　(日曜日)　第四千三百八十二號(一)

十一日刊 夕
磐城時報

編輯兼發行人 福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷人 岡田弘成
印刷所 福島縣石城郡平町[illegible]町十四 [illegible]活版所
發行所 福島縣石城郡平町[illegible]町十五 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金[illegible]錢
廣告料一行[illegible]金[illegible]
▲日刊(日曜、祭日)休刊

愈々窮した各炭礦
今度は貯炭を封鎖
十三日から開始
放つて置けば五圓臺となる

常磐各炭礦では不況時に際して炭價を維持するため磐城、入山古河、福島、三井の各炭礦が一割の出炭制限を申し合はせ實行してゐる事屢報の如くであるが之等各炭礦の貯炭は磐城九万噸入山一萬七千噸、古河八千噸、福島八千噸といふ莫大なる額になつてゐるため出炭を制限してもこの莫大なる貯炭を投げ賣りしては炭價維持は到底不可能でこのまゝに放つておけば現在一噸七圓臺であるものが五圓内外に下落する事が明白なので、各炭礦關係者が協議の結果現在の貯炭全部を封鎖する事になつた即はち各炭礦主は十三日から三井炭礦を手始めとして各炭礦の貯炭を封鎖する事になつた、封鎖した貯炭は自然に燒けて使用に堪へぬに至る事明らかであるが、將來一噸につき二圓の下落を見るよりこの方が遥かに利益であるため之を斷行するに至つたものである。尚ほ各炭礦が輸送する貨車は東京木曜會で配給するため各礦の自由にならず、完全なる貯炭の封鎖が行はるゝわけである。

平小鐵道
路線の研究
爭奪運動起る

昭和六年から着工される平、小名濱兩町間鐵道は地方産業開發に重大な關係あるので當局は愼重な態度をとり目下技術官をして

一、平町から小名濱町に直通する路線
一、平町から内郷村を經て飯野山の岸を迂回する線
一、夏井川の沿岸を下り濱通から小名濱に通ずる夏井沿岸線

實地踏査しつゝ比較研究中で産業開發の點からは無論兩迂回線が工費の關係上直通線がもつとも實現の可能性があると見られてゐる。而して右路線三案のうちいづれを採用するも起点平町には大した影響がないので平然と構へて居るが他の村民は利害が相反するので路線爭奪の猛運動を起さんと準備を進めて居るから鐵道當局の實地踏査と比較研究が進行するにつれて火の手があがり一もみもまなければ解決しないだらうと觀測さる。

刑務所長を感動させた
石城民政黨の犧牲者
幹部が慰問方法を計劃

草野村渡邊蕃内氏は地方に於ける民政黨員として知られてゐた人であるが、去る大正十四年某會社に勤めてゐる際偶々代議士改選に遭ひ候補者比佐昌平氏と星一氏が火花を散らす激戰を演するに至つた際渡邊氏は比佐氏が金力に於て星氏に及ばざるを知り政友派を騙つて軍資金を出さしめ比佐氏のために運用した事が端なくも草野村會議員改選に當つて曝露し文書僞造罪として福島刑務所に送らるゝに至つた事は當時報導の如く、石城民政黨の犧牲者として一般から氣の毒がられたが、其後渡邊氏は刑務所に在つて誠心誠意獄則を重んじ精神の修養につとめ暇ある毎に一般囚人に對して現在社會の推移、出獄後の方針等を說き聞かせ囚人を善導すべく努力を惜ます、在監者の模範として刑務所長其他を感動せしめ此程全く青天白日の身となつて出獄したが、在監中の行動かくの如く成績優良であつたため出獄に際しては長谷川刑務所長は特に同氏に對し懇篤なる言葉を以つて感謝の意を表した由であるが石城民政黨幹部の人は同氏の出獄を喜んで感想を語る。

「渡邊氏は愛黨の精神から遂に犯罪者となつたもので之は法律の命ずる處で止むを得ない然し刑務所に在つて全く模範的で所長をさへ感動せしめた程の改心生活を續けた事は石城民政黨として喜ぶ可き事である。近く何等か慰問の方法を講じたいと思つてゐる」

客の財布から
金を拔き取る番頭
簡閲点呼場で捕はる
十數回に亘つて二百余圓

安達郡太田村字下太田生れ當時平町二丁目鶴屋旅館荻野直次方番頭高野巳喜藏(二四)は六月から番頭をしてゐるうち去る六月八日夜宿泊人なる東京市日本橋區小網仲町藤井利一郎の財布から現金二十五圓を拔き取つた外十數回に亘り同樣手段で二百余圓を窃取し平町南町飲食店で遊與費消してゐる事平署で探知し行衛捜索中であつたが十日平第一小學校に簡閲点呼のため來た處を捕はれ目下取調中である。

平署員異動

今十一日平署員に左の如く異動があつた。

平署警部補鈴木傳次郎(依願免官)小名濱警部補(須賀川署へ)福島署巡査部長塙粲(警部補となりて小名濱へ)須賀川署警部補伊藤榮次(平署特別高等係)平署巡査持舘義雄(部長となりて縣高等課へ)

平の白米
けふから値上

平町の米穀商は十一日から左の如く白米の値上げを行つた。

▲上白米三十五錢▲中白米三十四錢▲並白米三十三錢▲田糯四十三錢▲陸糯四十錢▲搗麥二十一錢

料理屋から
金を強要

茨城縣大貫町字船戸町生れ當時住所不定田山歌吉(四八)は十日午後二時頃平町新田町に來り自分は料理人であるから使つて貰ひ度いと願ひ入れ、使はれなければ旅費を呉れと強要し同町喜柳、すゞき亭外數軒を脅かしたので平署に捕はれ余罪取調中。

助川の横領番頭
江名町で捕はる
客から預つた大金を持逃げ

當時茨城縣助川町旅館染谷豊太郎方番頭郡山市字柳町生れ原田萬一事中尾清(三六)は九日夜宿泊人岡村文治外一名から現金百八十六圓在中の墓口を預けられたのを奇貨とし之を横領して同家を脫け出し十日午前一時五十四分助川驛發下り列車に乘つて逃走したのを翌朝になつて判明し大騷ぎとなり其筋に屆け出でたので助川署では沿線各警察署に手配をして行衛捜索中の處十日午後江名町を徘徊してゐる處を同町駐在高橋巡査に捕へられ十一日助川署巡査に引渡した。

第二師團長
点呼場視察

赤井第二師團長は十一日内郷村に於ける簡閲点呼狀視察のため來郡した。

入山炭礦で
第六坑開鑿

兩三年來の炭況不振に當面しながら好間村の古河炭礦と共に比較的順調なる操業を續けてゐる入山採炭株式會社では現在の主要坑たる湯本町第五坑の外更に第六坑を開鑿する事となり大貫技術部長監督の下に愈々來月一日を以て起工する筈である、而も今後一年三ヶ月にして着炭するといふ第六坑の鑛區は實に二百二十萬坪を算するといふ現在の第六坑鑛區七十五萬坪に約三倍の廣汎なる區域で埋藏炭量の豊富なる事蓋し思ひ半に過ぐるものがある、坑口は從來の第五坑内につけ將來五坑々口に搬出する計劃で最初は二百二十萬坪の内六十萬坪の區域から採炭する計劃であるが採掘の方法は全部坑夫の勞力により來つた舊套から脫し現在古河炭礦において好成績を擧げつゝあるコールカッター(鑿岩機)を使用し電車によつて運搬するので現在第五坑における一日平均出炭量千噸に二倍する二千噸の出炭に對しても殆んど從業員によつて何等事欠かぬ見込がついてゐるばかりか將來の第六坑に臨むに既往何年かに亘つて投資した三百五十萬圓と註さるゝ起業費の回收などを眼中に置かず拮据經營したる第五坑における尊い研究体驗を以てするのでその操業の順調なるべき事恐らく既定の事實と見られてゐるので炭礦命脈の延長から地元湯本町を始め地方一般該計劃の進行を喜んでゐる。

淋毒をうつし
嫁を虐待
不埒な親子

平町搔揚小路鼻緒商野澤由太郎(三〇)は去る五月中好間村大字川中子菊地隆三(四七)の養女野澤トシ(十九)と結婚したが、由太郎は猛烈な淋病にかゝつてゐるため結婚後十日程過ぎたら病魔に冒され淋菌のため膝關節炎を起し平町田町安齋外科醫院に入院加療中であるが、トシは其後淋毒性の余病を併發し右足が不具となつたが、由太郎は入院料二百余圓を一文も支拂はないのみか由太郎の實母トシ(五〇)も不人情な女で自分は亭主を三人も亡くしてゐるから嫁の二三人は死んだつて不思議はないと言つて入院料の支拂に應じないが、入院中のトシは目下發狂狀態になつてゐるのでトシの養父菊地隆三は十一日平署に出頭し野澤親子に說諭方を願ひ出でた。

仙台對平

卓球試合

平地方昨今の卓球熱は素晴らしいものではやくから他地方チームとの試合を計劃中であつたが今回オール平の名義を以て仙臺芭蕉倶樂部を迎へ花々しい決戰を試みる事に決定した、期日は來る二十六日で同日午前十時から平稅務署樓上を會場として開催すべく目下準備中であるが仙臺軍は七十七銀行の加藤主將以下七名に對し全平は稅務署、營林署、七十七銀行、平銀行、第一小學校の五チームより川角主將以下七名を選拔する筈で地方卓球界空前の壯擧であり且恰も日曜日に相當するので多數同好者の參觀もあり當日の盛況は今から想像されてゐる、因に審判は七十七銀行の山田支店長になるであらうと。

驚いた!!!

こうまで安いとは

平・加納活版所の印刷物

飲食代を拂へと暴れ込む

双鶴樓主人平署に告訴さる

平町南町支那料理業双鶴樓事上海溫洲生れ林桂宗（二四）は平町新川町木型彫刻師佐藤誠が十數回飲食して代金を支拂はぬのに憤慨し十日午後一時頃佐藤方に至り口論の末木型を以て毆打せんとしたので佐藤は逃走したが林桂宗は不在宅で暴れ廻り家財を破棄したので平署に告訴された。

平町魚市場

株式募集廣告

一、申込期間　八月二十日限り
一、第一回拂込金　一株ニ付キ十二圓五十錢
一、株式會社平魚市場
發起人總代　加納五郎
申込取扱所及拂込個所
平町平銀行
平町白銀町（電話三一一番）
加藤丈夫營業所

創立事務所

平町五丁目二十一番地

注目の的

殺菌防臭の効絶大なり

優良なる

代理店　關内藥局
平町四丁目（電話四〇番）

一葉印刷所

平町字仲町
電話七三四番

高級洋食

一品每に

お買上券一枚進呈

洋式宴會仕出し

景一の井

平町田町（電話一六七）

一等二本（美）
二等三本（景）
三等五本（勝）
四等十本（山）
五等三十本

外科一般
内科
花柳病科
專門

診療科目

診療時間　午前八時より午後九時まで（但し急患は此の限にあらず）

平町田町大通り（電話四三六番）

國外科醫院

安齋外科醫院

入院隨意

奇妙にきく

ハリグスリ「不思議膏」

▲主治効能　神經痛、うちみ、くぢき、肩のこり、筋の痛、リウマチス、腰の痛、手足の痛、胃の痛、齒痛其外疼痛の個處へ用へて不思議に効あり。
▲藥價　拾四枚入金五拾錢、八枚入金參拾錢五枚入金貳拾錢、二枚入金拾錢

平町四丁目（電話百四十四番）

特約店　小野屋藥舖

農藝用消毒殺虫藥品

養蠶用寒暖計

の御用は

平町五丁目角　山野邊藥局

耳鼻咽喉科專門

平町仲田町七一

新築移轉

場所　合津醫院

電話五五九番

内科　小兒科（院長每日診療）
院長　醫學博士　難波睦
内科部長　栗野省三
外科一般　花柳病科
外科部長　醫學士　氏家憲介
産婦人科
産婦人科部長　醫學士　五十嵐雄二
藥局
藥局長　吉本孝平
本院主事　賀澤忠治
電話七二番

最新X光線裝置

獨逸シーメンス・ユニバーサル・ヘリオドル

五月十日ヨリ診療開始
診斷寫眞　深部治療
主任　醫學博士　難波睦

磐城共濟病院

平【電話六四一番】

入院自炊ノ便アリ　看護婦募集

ツルヤ洋品店の

夏の子供服陳列會

イタヅラ着　三十錢より
ボイル服　一圓四十錢
富士絹服　二圓より

御自由御覽になられる樣店内に陳列

ツルヤ

特に御勉め品霜降學生服

壹號　一圓十錢
貳號　一圓廿錢
參號　九十錢

平四丁目　電一四〇